

としま丸しんぶん

六四

今年(こゝし)はうし(うし)年の巻(まき)

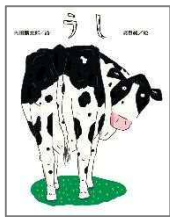
いしいし…。うーん、考えてたらおなががすいてきちゃったー！おやし(おやし)こ(こ)し(し)や(や)う(う)ー！

参考『動物シニア学研の図鑑』学研教育出版



今年(こゝし)はうし(うし)年(ねん)！牛(うし)といえ(い)ば、白(しろ)と黒(くろ)のも(も)よう(よう)だ(だ)よね(よね)。でも(でも)、じ(じ)つ(つ)は、あの(あの)牛(うし)は「ホル(ホル)ス(ス)タ(タ)イン(イン)」とい(い)う(う)種(しゆ)類(るい)で、ほ(ほ)か(か)に(に)も(も)白(しろ)だ(だ)け(け)、黒(くろ)だ(だ)け(け)、茶(ちや)色(いろ)だ(だ)け(け)、茶(ちや)色(いろ)と(と)白(しろ)な(な)ど(ど)、い(い)ろ(ろ)ん(ん)な(な)色(いろ)の(の)牛(うし)が(が)い(い)る(る)ん(ん)だ(だ)つ(つ)て(て)。ぼ(ぼ)く(く)は(は)一(いっ)年(ねん)生(せい)の(の)時(とき)に(に)牧(ぼく)場(じやう)へ(へ)つ(つ)れ(れ)て(て)い(い)っ(っ)て(て)も(も)う(う)ら(ら)う(う)ま(ま)で(で)、牛(うし)つ(つ)て(て)白(しろ)と(と)黒(くろ)だ(だ)け(け)だ(だ)と思(おも)っ(っ)て(て)いた(いた)か(か)ら(ら)、初(は)め(め)て(て)茶(ちや)色(いろ)い(い)牛(うし)を(を)見(み)た(た)と(と)き(き)は(は)び(び)っ(っ)くり(り)し(し)た(た)な(な)あ(あ)ー！

牛(うし)の(の)絵(え)本(ほん)、牛(うし)に(に)く(く)わ(わ)しく(しく)なる(なる)本(ほん)



『うし』
う(う)ち(ち)だ(だ)りん(りん)た(た)ろう(ろう) 詩(し)
高(たか)富(とみ)純(じゆん) 絵(え)
ア(ア)リス(リス)館(かん)



『ぎゆうにゆうだいへんしん!』
ひ(ひ)さ(さ)か(か)た(た)ち(ち)や(や)い(い)る(る)ど(ど)

おてがみひろば



としま丸(としま)ど(と)く(と)くし(し)ょ(し)て(て)ち(ち)ょう(ちやう)ほ(ほ)、
ど(と)う(と)す(す)れ(れ)ば(ば)い(い)い(い)？
な(な)なし(なし)さん(さん)よ(よ)り(り)

としま(としま)子(こ)は(は)な(な)が(が)い(い)ほ(ほ)ん(ん)が(が)に(に)か(か)て(て)
で(で)す(す)か(か)？ せ(せ)な(な)は(は)、な(な)が(が)い(い)ほ(ほ)ん(ん)を(を)
ま(ま)む(む)の(の)が(が)に(に)か(か)て(て)で(で)す(す)。ど(と)う(と)し(し)た(た)
ら(ら)い(い)の(の)か(か)お(お)し(し)え(え)て(て)く(く)だ(だ)さい(さい)。
せ(せ)な(な)さん(さん)よ(よ)り(り)

『としま丸(としま)読(よ)書(しよ)手(て)帳(ぢやう)』、ぼ(ぼ)く(く)も(も)使(つか)っ(っ)て(て)る(る)よ(よ)！ ぼ(ぼ)く(く)は(は)、手(て)帳(ぢやう)が(が)全(ぜん)部(ぶ)つ(つ)ま(ま)った(た)ら(ら)、一(いっ)番(ばん)お(お)も(も)し(し)ろ(ろ)か(か)った(た)本(ほん)を(を)と(と)し(し)ょ(し)子(こ)や(や)友(とも)達(だち)と(と)教(おし)え(え)合(あ)い(い)っ(っ)こ(こ)し(し)て(て)い(い)る(る)ん(ん)だ(だ)。その(その)あ(あ)とは(は)、本(ほん)だ(だ)な(な)に(に)置(お)い(い)て(て)、自(じ)分(ぶん)が(が)今(いま)ま(ま)で(で)読(よ)んだ(だ)本(ほん)を(を)か(か)く(く)に(に)ん(ん)す(す)る(る)た(た)め(め)に(に)使(つか)っ(っ)て(て)い(い)る(る)よ(よ)。め(め)ざ(ざ)せ(せ)百(ひゃく)冊(さつ)！



『としま丸(としま)読(よ)書(しよ)手(て)帳(ぢやう)』は(は)、さい(さい)たま(たま)市(し)の(の)各(かく)図(ず)書(しよ)館(かん)で(で)く(く)ば(ば)っ(っ)て(て)い(い)る(る)よ(よ)ー！

お(お)手(て)紙(し)あ(あ)り(り)が(が)ど(と)う(と)う(う)！ と(と)し(し)ょ(し)子(こ)で(で)す(す)。わ(わ)た(た)し(し)は(は)、長(なが)い(い)お(お)話(わ)も(も)短(みじ)かい(かい)お(お)話(わ)も(も)大(だい)好(こう)き(き)だ(だ)よ(よ)！ で(で)も(も)、前(まえ)は(は)苦(くる)手(て)だ(だ)った(た)な(な)あ(あ)…。と(と)ち(ち)ゆう(ゆう)で(で)頭(あたま)が(が)こん(こん)が(が)ら(ら)が(が)っ(っ)て(て)き(き)ち(ち)や(や)う(う)ん(ん)だ(だ)よ(よ)ね(ね)。わ(わ)た(た)し(し)は(は)、短(みじ)い(い)お(お)話(わ)を(を)た(た)く(たく)さん(さん)読(よ)ん(ん)で(で)い(い)たら(ら)、い(い)つ(つ)の(の)ま(ま)に(に)か(か)長(なが)い(い)お(お)話(わ)も(も)読(よ)める(める)よ(よ)う(う)にな(な)っ(っ)て(て)い(い)た(た)よ(よ)！ だ(だ)か(か)ら(ら)ま(ま)ず(ず)は(は)、好(す)きな(きな)本(ほん)を(を)い(い)っ(っ)ぱ(ぱ)い(い)読(よ)ん(ん)で(で)み(み)たら(ら)ど(と)う(と)か(か)な(な)？



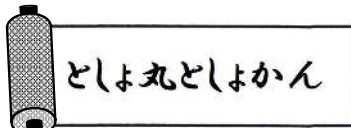
この(この)コ(コ)ー(ー)ナ(ナ)ー(ー)は(は)、と(と)し(し)ょ(し)れ(れ)し(し)ん(ん)ぶ(ぶ)ん(ん)を(を)読(よ)ん(ん)で(で)い(い)る(る)き(き)み(み)と(と)、と(と)し(し)ょ(し)れ(れ)を(を)お(お)も(も)す(す)ぶ(ぶ)コ(コ)ー(ー)ナ(ナ)で(で)す(す)。て(て)が(が)み(み)は(は)、と(と)し(し)ょ(し)れ(れ)ポ(ポ)ス(ス)ト(ト)へ(へ)い(い)れ(れ)て(て)ね(ね)！ な(な)ま(ま)え(え)を(を)の(の)せ(せ)て(て)も(も)い(い)い(い)人(ひと)は(は)、な(な)ま(ま)え(え)も(も)書(か)いて(いて)ね(ね)☆

としま丸
ポスト
〒

『ぼくのかえりみち』★

ひがしちから 作 BL出版

あるひの かえりみち、そらくんは きめました。「きょうは、この しらいせんの うえを あるいて かえろう」 こうじちゆうでも おおきな いぬが とおせんぼ していても なんとか とおりぬけたのに、しらいせんが とちゆうで なくなってしまいました。そらくんは ぶじに いえに かえることができるでしょうか？



★がふえると だんだんむずかしくなるけれど チャレンジしてみてね！

『くろねこのどん』★★

おかの こさく うえじ こ えり りんしや 岡野かおる子 作 上路ナオ子 絵 理論社

ひとりでおるすばんをしていたえみちゃんは、庭で、はなと四本の足の先だけ白いまっくろくろの子ねこに会いました。「やうい、どん」のかけ声で、ぱっとあらわれる子ねこを、えみちゃんは「どん」とよぶようになりました。雨の日も風の日も、雪の日も晴れの日も、どんはえみちゃんのところへあそびにやってきます。



『黒魔女コンテスト』★★★

エヴァ・イボットソン 著 三辺律子 訳 偕成社

偉大なる魔法使い〈恐ろしのアリマン〉は、黒魔術を守り続ける毎日につかれてしまった。そこで、魔女と結婚してあとつぎを育てようと決心する。アリマンは、コンテストでもっとも邪悪で、黒く、強い魔法をつかったものを花嫁に選ぶことにした。ところが、集まってきたのは、とんでもない七人の魔女たちだった。



『ほうさんちゅう』

まつおかあつし かんしゆう 松岡篤 監修 かんちくたかこ 文 アリス館

ほうさんちゅうは、5おく年前から海にいる、小さな生きもの。しんだあとのほねは、でんしけんびきょうでやっど見える。かたちはいろいろで、つのがあるものや、ロケットみたいなものもある。すきとおっているのは、ガラスとおなじものでできているから。深い海のそこにある、ふしぎなせかいをのぞいてみよう。



『光の旅 かげの旅』★

アン・ジョナス 著 内海まお 訳 評論社

くるまの あ がた いえ しゅっぱつ かもつれっしや とお むきばたけ 車に乗って、明け方、家を出発する。貨物列車が通る麦畑、高速道路、海岸沿いの道を行くと、いよいよ街に着いた。太陽がしずむまで街を楽しんだら、本をさかさまにしてください。行きの旅とは全然ちがう、帰りの旅が始まるよ。白と黒だけで描かれた、一つの絵で二つの景色を楽しめるふしぎな絵本。



『ノロウェイの黒牛』★★

なががわちひろ 文 さとうゆうすけ 絵 BL出版

うつくしい三人のむすめが、どんな人と結婚したいか話していました。末のむすめは、身の毛もよだつ怪物・ノロウェイの黒牛でもいとわりました。するとある朝、大きな黒牛がむすめをむかえにきたのです。黒牛はむすめをせなかにのせて旅にでました。スコットランドのふしぎでロマンチックなむかしばなし。



『少年弁護士セオの事件簿 1 なぞの目撃者』★★★

ジョン・グリシャム 著 石崎洋司 訳 岩崎書店

13歳のセオは、法律家を夢みる少年弁護士。ある日、町のゴルフ場で殺人事件が起き、セオは思いがけずその事件の重大情報を得てしまう。事件のカギを握るその情報を、知っているのはセオだけ。判決のときが迫る中、セオは真相を明らかにすることができるのか？ 事件に白黒つけるミステリーシリーズ第1弾。



👤 こんな本もどう？

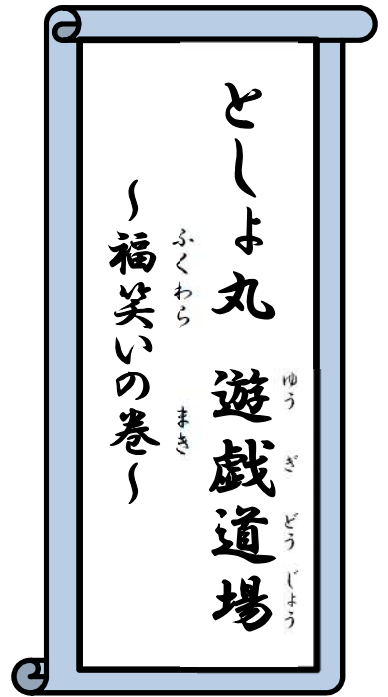
『くらやみでもへっちゃら』

ももいかずま ながの こ 桃井和馬 ぶん 長野ヒデ子 え 大日本図書

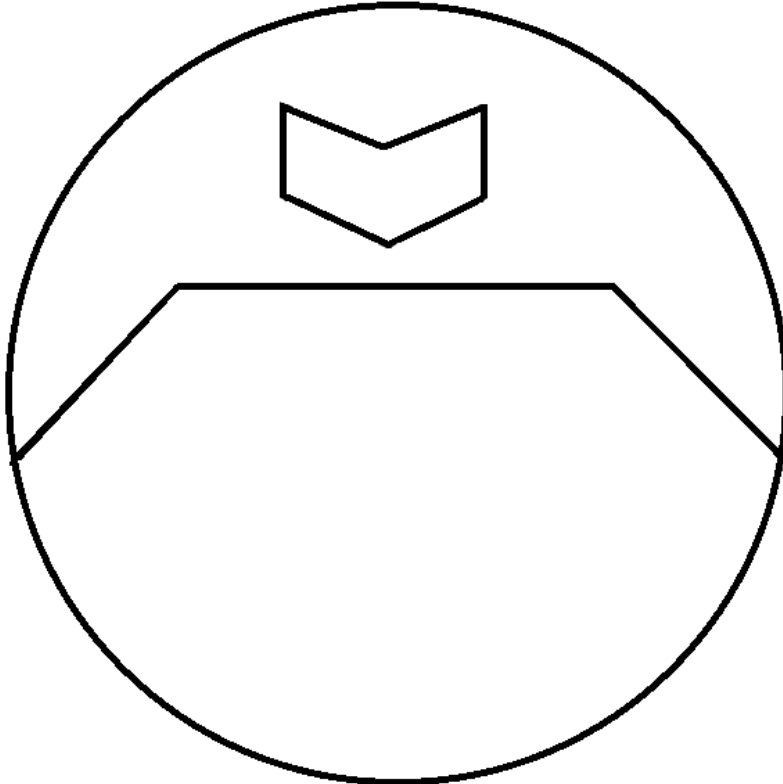
くらいところはこわいけど、いいこともある。こんやは、くらやみの世界を体験してみよう。まっくらな部屋では、いろいろな音が聞こえる。舌も鼻も手足も、びんかんになる。電気のなかった時代から、人はくらやみをたいせつにして、うまくつきあっていたんだ。こわいだけじゃない、くらやみについて、かんがえてみよう。



わ ら 笑^{わら} う 門^{かど} には 福^{ふく} 来^く る



かお
顔



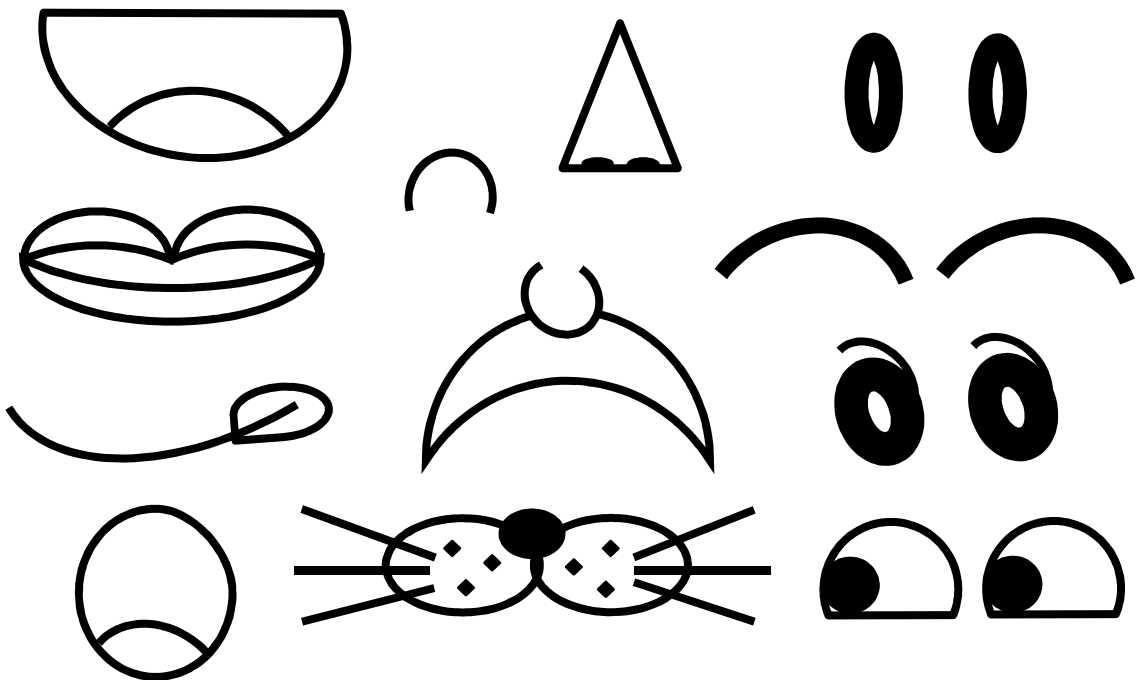
かお 顔とパーツ (目・鼻・口) の絵に好
きな色をぬり、パーツを切ってね。
目を閉じながら、顔の上に好きな
パーツをのせてみよう!

編集
後記

くち
口

はな
鼻

め
目



今年もいっぱい笑って楽しい年にしようねー！
笑っている人の家には幸せがやってくるんだよ。
笑う門には福来るといことわざ、ほんと大好き。